

恵山の火山活動解説資料（平成28年12月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図 1、図 2-①）

Y 火口の噴気の高さは火口縁上概ね 50m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・ 地震及び微動の発生状況（図 2-②③）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 2-④）

GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 恵山 西南西側から見た山頂部の状況（12月25日、高岱^{たかだい}監視カメラによる）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

今回の火山活動解説資料（平成29年1月分）は平成29年2月8日に発表する予定です。

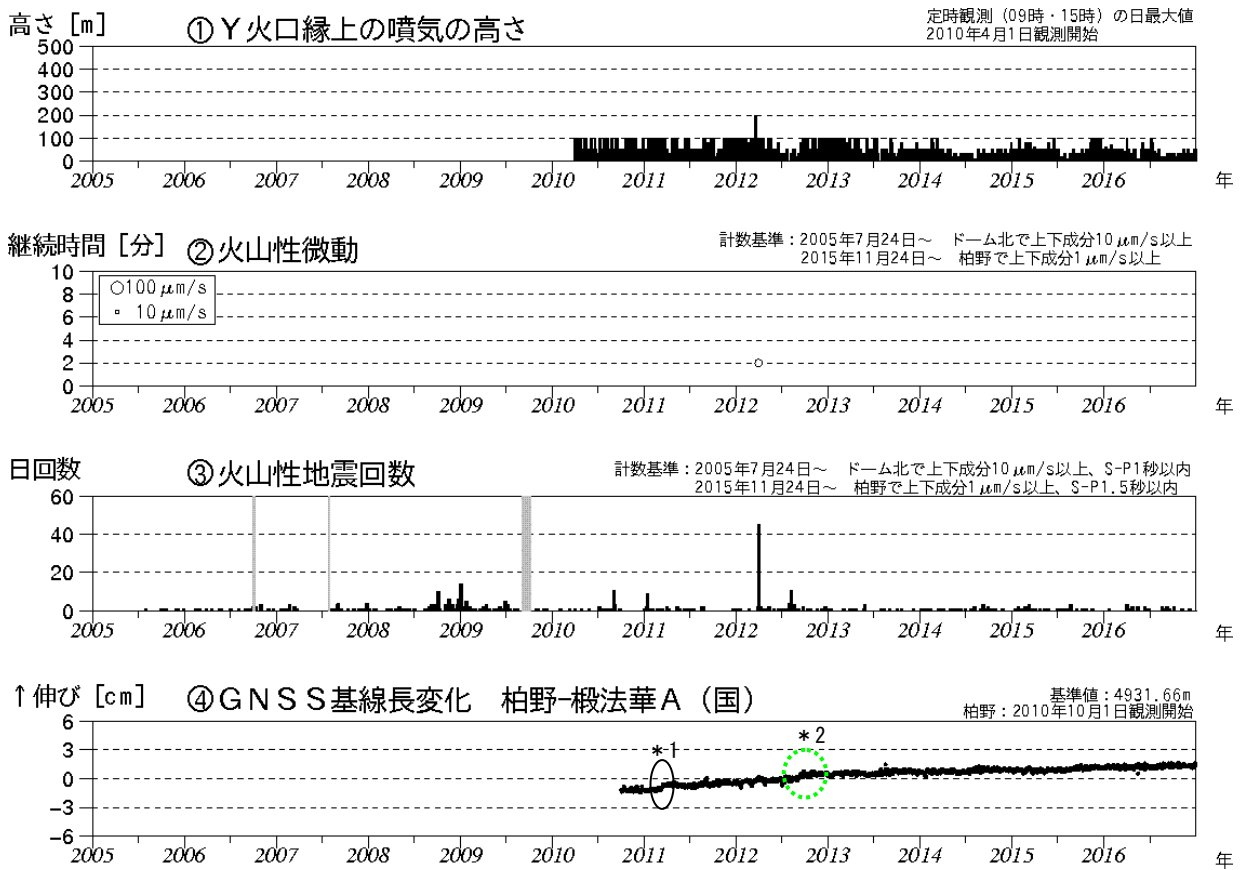
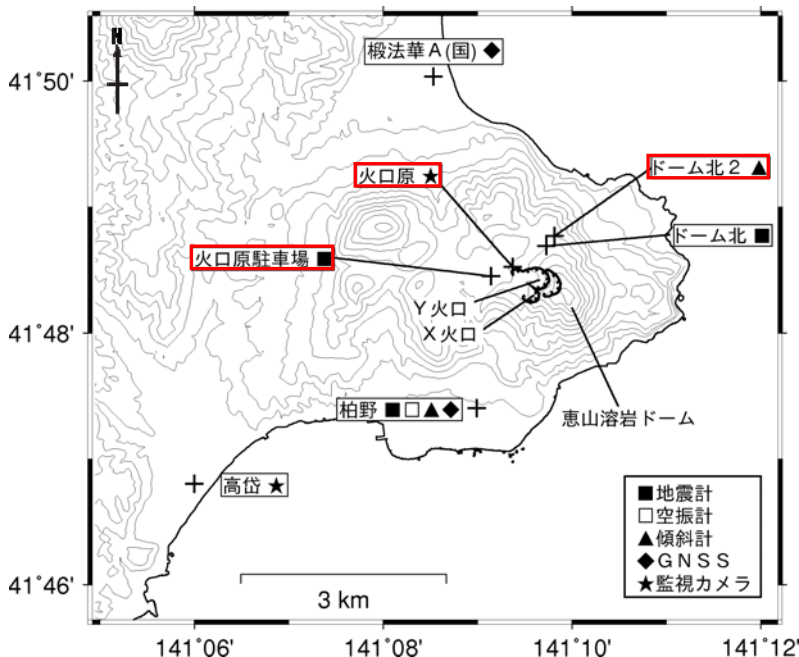
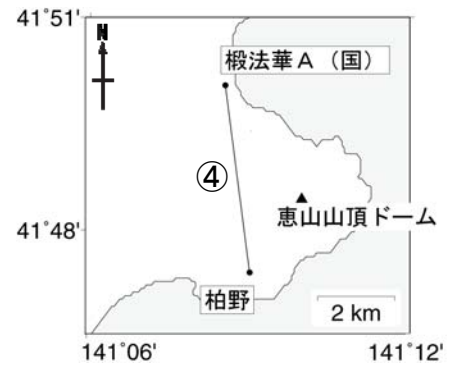


図2 恵山 火山活動経過図 (2005年7月～2016年12月)

- ・ 灰色の期間は機器障害のため欠測しています
- ・ ④のGNSS基線は右配置図に対応しています
- ・ (国): 国土地理院
- ・ 2015年11月より火山性地震及び微動の計数基準点をドーム北から柏野に変更しています
- * 1: 楯円内の変動及び2012年頃までの基線長の伸びは、2011年3月11日に発生した「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の影響によるものであり、火山活動によるものではありません
- * 2: 緑点線円内の変動は、機器更新によるものです



□: 2016年12月1日から新たに運用を開始した観測点

図3 恵山 観測点配置図
+印は観測点の位置を示します
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
(国): 国土地理院

気象庁観測点一覧表 恵山 (緯度・経度は世界測地系)

2016 年 12 月 1 日から新たな観測点の運用を開始しました。

記号	測器種類	地点名	位置				観測開始日	備考
			北緯(度分)	東経(度分)	標高(m)	設置高(m)		
■	地震計	ドーム北	41 48.69	141 09.73	369	0	2005 年 7 月 24 日	
		柏野	41 47.40	141 08.99	41	-99	2010 年 9 月 1 日	
		火口原駐車場	41 48.46	141 09.15	324	-3	2016 年 12 月 1 日	広帯域
□	空振計	柏野	41 47.4	141 09.0	41	3	2010 年 9 月 1 日	
★	監視カメラ	高岱	41 46.8	141 06.0	8	13	2010 年 4 月 1 日	可視
		火口原	41 48.5	141 09.4	351	3	2016 年 12 月 1 日	可視、熱映像
◆	GNSS	柏野	41 47.4	141 09.0	41	3	2010 年 10 月 1 日	
▲	傾斜計	柏野	41 47.4	141 09.0	41	-99	2011 年 4 月 1 日	
		ドーム北 2	41 48.8	141 09.8	381	-15	2016 年 12 月 1 日	

□ : 新たに運用を開始した観測点

広帯域地震計 : 噴火に先行して発生する可能性のある低周波地震や傾斜変動等を精度よく捉えることが出来る地震計